



平成27年度

第5回 みみらんどセミナー

☆ 実施日時 ☆ 平成27年 9月 10日(木) 13:15~14:30

☆ テーマ ☆ 「耳の病気と学校や家庭での配慮
及び人工内耳について」

☆ 講師 ☆ ばばクリニック 馬場 陽子先生



**耳の痛みや発熱などの心配があるときは、
すぐに耳鼻科を受診しましょう。適切な治療が必要です。**

○耳垢

耳垢が貯まると音の共鳴が悪くなります。2・3週間に1回程度、お風呂上りに耳の掃除をしましょう。耳の掃除の際に鼓膜を傷つけないようお子さんと二人だけの部屋で掃除をしましょう。小さいお子さんの近くに耳かき棒を置いておかないように気をつけましょう。

○急性中耳炎

耳が痛い、熱が出る、耳だれが出るなどの症状が出ます。

○滲出性中耳炎

5・6歳までの乳幼児に多いです。耳の痛み、発熱、耳漏などのはっきり分かる症状はありません。鼓室（鼓膜の内側の小さな空間）に滲出液が貯まりますので、聞こえが悪くなります。耳鼻科で鼓膜を切開したり、チューブをしたりして滲出液を取り除きます

他に、「外耳炎」「外傷性鼓膜穿孔」「アレルギー性鼻炎」「副鼻腔炎」についてもお話がありました。



◇人工内耳装用児者の注意点◇

○頭をぶつけないようにしましょう。

○定期的に病院を受診しましょう。3ヶ月に一度は受診をしましょう。

◇~ 馬場先生から ~ ◇

小児人工内耳の目的は、音声言語の獲得ですが、人工内耳を装用した子供たちがすべて健聴者と遜色なく会話が可能になるわけではありません。これまでの研究ではまだまだ解決できないことがたくさんありますので、現在私たちができることの中からお子さんに一番よい方法で、その子の言葉の力、コミュニケーション能力を伸ばし、大人になった時に自立できるように育てていくことが療育、教育の目的だと思います。